

授業科目	言語習得と言語学習					実務家教員担当科目	-		
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期		
担当教員	太田 かおり								
授業概要	第二言語習得を理解するための背景知識となる第一言語習得について概観し、「言葉はどのように学ばれるのか」に関する興味関心を喚起しつつ、幼児期の言語学習に関する基本的な知見を深める。さらに、第二言語習得のプロセスや第二言語習得の成果に関わる要因について基本的な知識を身につける。インプットやアウトプットの質・量を高める効果的方法や言語学習の原動力となる動機づけ、自律的な言語習得を促す学習方略、学習スタイル等について学び、第二言語としての英語学習をより効果的に進めるためのヒントや気づきを得ることによって自らの英語学習方法の改善につなげ、今後の英語学習の一助とすることを目指す。								
授業形態	対面授業				授業方法	ペアワーク、ディスカッション			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1. 第一言語習得に関する基本的な知識を概ね理解している。 2. 第二言語習得に関する基本的な知識を概ね理解している。 3. 言語習得に興味関心を持って考察したり、学習に取り組んだりする意欲が見られる。								
理想的レベル	1. 第一言語習得に関する知識を深く理解している。 2. 第二言語習得に関する知識を深く理解している。 3. 言語習得全般について日頃から興味関心を持って深く考察したり、さらに応用的な学習に取り組んだりする姿勢が見られる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）			備考			
試験									
小テスト									
レポート			40			0			
発表（口頭、プレゼンテーション）			30			0			
レポート外の提出物			20			0			
その他			10			授業内でのディスカッションへの積極的な参加や貢献姿勢			
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
（予習）次時の学習内容について教科書や関連文献に事前に目を通してくる。 （復習）学習した内容を復習し、さらに深く調べる。									4
授業計画									
第1回	授業ガイダンス（授業概要、授業計画、予習・復習方法、評価方法等について） イントロダクション（グローバル社会の英語を取り巻く現状、仕事で使える英語力とは） 自身のこれまでの英語学習を振り返り、今学期の英語力向上に関する目標設定を行う								

第2回	第一言語習得（言語学習に関する通説に対する考察、第一言語習得の3つの理論）
第3回	第一言語習得（幼児期のバイリンガリズム）
第4回	第二言語習得（第二言語習得とはどのような学問分野か）
第5回	第二言語習得のプロセス
第6回	第二言語習得に必要なインプットの役割
第7回	第二言語習得に必要なアウトプットの役割
第8回	第二言語習得の学習者特性(1) 動機づけ
第9回	第二言語習得の学習者特性(2) 学習方略
第10回	第二言語習得の学習者特性(3) 学習スタイル
第11回	第二言語習得の学習者特性(4) 言語学習の適正
第12回	年齢と第二言語学習
第13回	教室での第二言語学習
第14回	言語学習に関する通説の再考
第15回	総括 今学期の英語力向上に関する目標設定を自己評価する
テキスト	バツツイ・M. ライトバウン、ニーナ・スパダ（2014）『言語はどのように学ばれるか』，岩波書店。 その他、必要に応じて授業内で適宜紹介する。
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	授業後に提出する振り返りフォームは、次時の授業でフィードバックを行い、質問等への回答・解説を行う。 授業中のディスカッションについては、授業内に口頭にてコメントする。
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	第二言語習得のプロセスや第二言語習得の成果に関わる各種要因について学びます。授業で学んだ知識を活用し、これまでの自らの英語学習方法の改善につなげるとともに今後の英語学習をより効果的に進めて行ってください。
学生への メッセー ジ・コメ ント	